

# 新型コロナウイルス感染症による気仙沼・本吉圏域産業・観光業界等への影響

参考5

業種等	影響等
事業者全般	<p>(気仙沼市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気仙沼商工会議所と本吉唐桑商工会が4月に実施した影響調査では、回答を得た307事業者のうち、売り上げ減少等により事業を休止した事業所は20事業所で、うち宿泊観光飲食6事業所、水産関連6事業所、卸小売り3事業所など</li> <li>・ また、3月の売り上げ状況は、「横ばい」は59事業所(24.6%)、「20%減少」は49事業所(20.4%)、「30%減少」は25事業所(10.4%)</li> <li>・ さらに、4月、5月も売り上げ減少と回答した事業所は、250事業所(81.4%)</li> <li>・ 自由記述では、「4月に入り注文はないに等しい」(卸・小売り)、「東京の取引先に営業に行けない」(製造)、「テイクアウトを始めたが売り上げが上がらない」(飲食)など</li> </ul> <p>(南三陸町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南三陸町と南三陸商工会が4月に実施した影響調査では、回答を得た218事業者のうち、「経営に影響が生じている」と答えたのは45%、「影響が生じている」と答えた事業者の67%は、3月の売り上げが前年同月比で20%以上減少</li> <li>・ また、今後想定される影響として、「近隣で感染が発生した場合の営業の継続困難」、「労働力の確保が難しくなる」、「マスクなどの衛生品の補充」など</li> </ul>
宿泊施設等	<p>(宿泊施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合によると3月25日時点で気仙沼・南三陸町の12施設で、予約キャンセルの延べ人数は2万3千人、キャンセル額は約2億円</li> <li>・ 休業要請後の5月中旬におけるホテル・旅館の稼働率は、施設により10%～50%と依然厳しい状況</li> </ul> <p>(神割崎キャンプ場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GW明けまで営業を自粛、週末を中心とした予約やGWの予約はキャンセル</li> </ul> <p>(教育旅行関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月時点で、5月、6月の予約はキャンセルとなり、中止若しくは秋に延期</li> </ul>

※ 公表資料，新聞報道，聞き取りなどによる

## 新型コロナウイルス感染症による気仙沼・本吉圏域産業・観光業界等への影響

業種等	影響等
卸・小売り等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気仙沼市物産振興協会が4月上旬の影響調査によると、回答した会員61事業所のうち、売り上げは、平均35%減少、要因はイベントや学校給食の中止、注文のキャンセルなど</li> <li>・ 気仙沼「海の市」全館休館(4月13日～5月末)</li> </ul> <p>(さんさん商店街)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さんさん商店街の3月の来場者は、3万1千人で前年比30%減、4月の半月では約3千人と例年の3分の1程度</li> <li>・ テイクアウトのみの営業としていた飲食店では、4月21日からの売り上げが▲80%減少など</li> <li>・ 5月の通常営業再開でも、休日の顧客の8割が観光客であるため、賑わいが戻るには時間がかかる</li> </ul>
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花見自粛、つつじ開花関連イベント中止</li> <li>・ 南三陸町祝100回記念福興市・大感謝祭の中止</li> <li>・ 本吉マンボウサンバ大会などの地域恒例イベントの中止</li> <li>・ 気仙沼みなとまつりの中止</li> <li>・ 海水浴海開きの中止・延期 (小泉海水浴場【本吉】、小田の浜【大島】、お伊勢浜海水浴場【気仙沼】はR3年に延期、など)</li> </ul>
入込客数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南三陸町によると、3月から5月までに観光客入り込み客数は前年同期▲約35万人、宿泊客数は▲4万人</li> <li>・ 気仙沼市によると、(新型コロナ影響前の)2019年の観光客数は249万4千人(前年比約1.7倍)、宿泊者数は24万4千人(前年比約1.2倍)、市震災伝承館への教育旅行等の伸び、大島大橋の開通、三陸道の延伸など増加要因、一方で復興工事関連の宿泊数が減少</li> </ul>

※ 公表資料、新聞報道、聞き取りなどによる